

P14 文章中数値を訂正します。

6/17 訂正 1ヶ所

令和3年度

千葉県公立高等学校入学者選抜 学力検査の結果

千葉県教育委員会

目 次

I 概 要	2
1 はじめに	
2 実施日、教科	
3 調査の対象	
4 学力検査問題の特徴	
5 結果の概要	
II 出題方針（本検査・追検査共通）	4
III 【本検査】教科別の結果	
1 国 語	6
2 社 会	8
3 数 学	10
4 理 科	12
5 英 語	14
IV 【本検査】受検者の得点分布	16
V 【追検査】教科別の概要	
1 国 語	18
2 社 会	20
3 数 学	22
4 理 科	24
5 英 語	26

I 概 要

1 はじめに

令和3年度千葉県公立高等学校入学者選抜では、一般入学者選抜等の本検査及び追検査において学力検査を実施した。その結果等をもとに作成した「学力検査の結果」を、本県中学校及び高等学校において教科指導向上のための資料の一つとして活用願いたい。

2 実施日、教科

本検査の学力検査は、令和3年2月24日（水）に国語・数学・英語、25日（木）に理科・社会を、国語・社会・数学・理科は各教科50分、英語は60分、各100点満点で実施した。

追検査の学力検査は、令和3年3月3日（水）に、国語・社会・数学・理科・英語を、国語・社会・数学・理科は各教科50分、英語は60分、各100点満点で実施した。

3 調査の対象

本結果は、令和3年度千葉県公立高等学校入学者選抜における一般入学者選抜の本検査及び追検査の学力検査で、全日制の課程（特別入学者選抜、地域連携アクティブスクール4校を除く）を受検した者（本検査では32,523名、追検査では8名）の結果等についてまとめたものである。

なお、本検査の正答率・無答率については、各教科とも全日制の課程の全受検者のうちから抽出した答案（全体の約10%）によって算出した。追検査は、受検者が少ないことから、平均点及び正答率・無答率を記さなかった。

4 学力検査問題の特徴

学力検査問題の作成に当たっては、各教科とも中学校学習指導要領に基づき、総合的な力をみることができるよう配慮した。

令和3年度の学力検査問題の特徴は、次の2点である。

- 基礎的・基本的な事項の正確な理解度をみることができるよう、複数の解答について全て正しい場合にのみ正解とする問題や、理由を書かせる問題を設定した。
- 学習した基礎的知識を応用して答えを導く問題や思考力、判断力、表現力を総合的にみることができるような問題を設定した。

上記2点を柱に、「自ら学び、思考し、表現する力」をみる問題を充実させた。

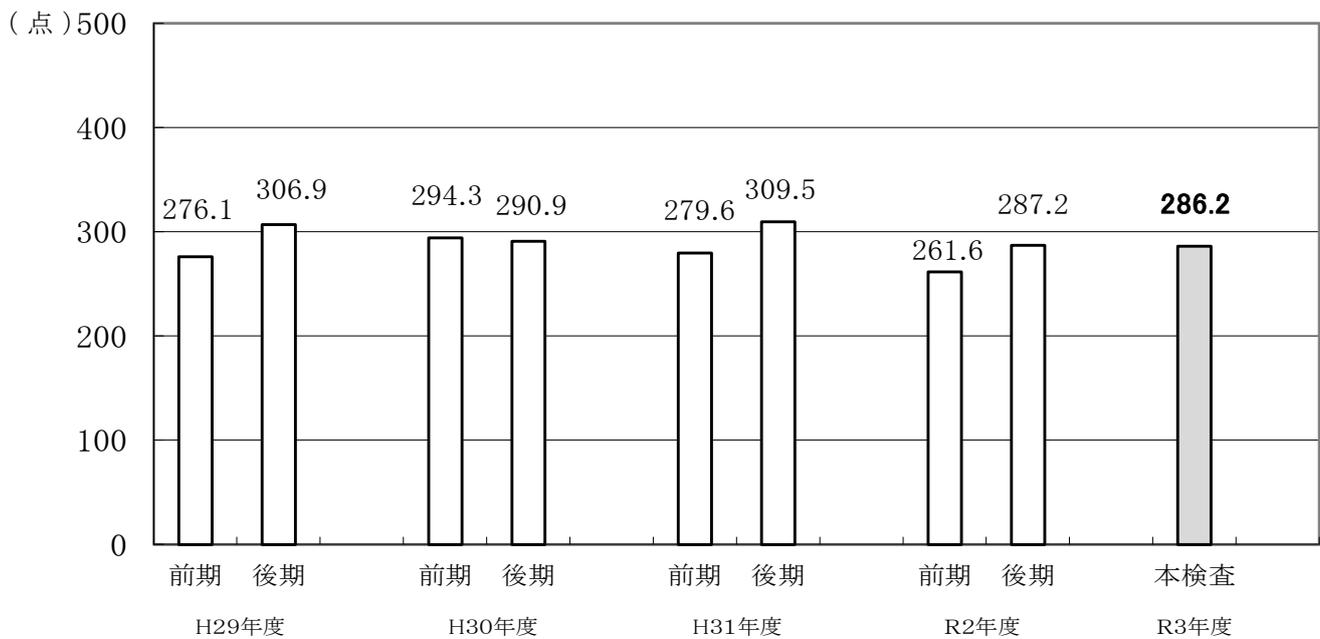
5 結果の概要

【表】各教科及び5教科の平均点

()内は標準偏差

		国 語	社 会	数 学	理 科	英 語	5 教 科
令和 3 年度	本検査	52.8 (17.7)	57.7 (21.3)	59.3 (21.3)	54.6 (18.7)	61.7 (26.1)	286.2 (94.0)
	前期	46.0 (17.3)	60.7 (22.6)	51.4 (19.8)	48.8 (17.8)	54.6 (22.9)	261.6 (90.6)
令和 2 年度	後期	54.7 (16.5)	62.1 (20.8)	59.0 (18.9)	59.7 (21.5)	51.5 (24.2)	287.2 (92.6)

【図】5教科の平均点の経年変化



各教科及び5教科の平均点は、【表】に示したとおりである。

また、5教科の平均点の経年変化を【図】に示した。令和3年度の本検査の5教科の平均点を見ると、令和2年度の前期選抜より24.6点高く、令和2年度の後期選抜より1.0点低かった。

なお、本検査の受検者の得点分布については、16、17ページに示した。

Ⅱ 出題方針（本検査・追検査共通）

1 国 語

- ア 学習指導要領に基づき、3領域（「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」）の基礎的・基本的な力を身に付けているかをみることができるようにした。
- イ 〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕の基礎的・基本的な力を身に付けているかをみることができるようにした。
- ウ 様々な文章について、内容を的確に理解し、書き手の伝えたいことなどを考察する力をみることができるようにした。
- エ 与えられた材料について、自分の言葉で考えを適切にまとめたり、相手に的確に伝えたりする力をみることができるようにした。

2 社 会

- ア 学習指導要領に基づき、地理的分野、歴史的分野及び公民的分野からバランスよく出題し、学習の成果を総合的にみることができるようにした。
- イ 基礎的・基本的な知識及び技能を身に付けているかをみることができるようになるとともに、現代社会の諸問題に対する関心や理解の程度をみることができるようにした。
- ウ 統計や地形図、写真などの諸資料を活用して、社会的事象を判断・分析する力、そしてそれを表現する力をみることができるようにした。
- エ 社会的事象を総合的に考察する力や筋道を立てて思考する力をみることができるようにした。

3 数 学

- ア 学習指導要領に基づき、数学の基礎的・基本的な知識及び技能を身に付けているかをみることができるようにした。
- イ 多面的にもものを見ることや論理的に考えることの基となる、数学の理解力をみることができるようにした。
- ウ 事象を数理的に考察し処理するための判断力及び表現力をみることができるようにした。
- エ 数学的な見方や考え方を総合的に活用するための思考力をみることができるようにした。

4 理 科

- ア 学習指導要領に基づき、第1分野、第2分野からバランスよく出題し、学習の成果を総合的にみることができるようにした。
- イ 基礎的・基本的な知識及び技能並びに科学的な見方や考え方を身に付けているかをみることができるようにした。
- ウ 図や表を基に、科学的に判断する力や結果などを表現する力をみることができるようにした。
- エ 課題を多面的、総合的にとらえ、科学的に思考し、解決する力をみることができるようにした。

5 英 語

- ア 学習指導要領に基づき、英語の基礎的・基本的な知識及び技能を、全領域にわたり身に付けているかをみることができるようにした。
- イ 「聞くこと」の領域では、音声を通しての理解力や応答力、大切な事柄を落とさず聞き取り、適切に判断して答える力などをみることができるようにした。
また、「話すこと」の領域では、対話文等により、文脈を理解し適切に応答したり、自分の意見を述べたりする力をみることができるようにした。
- ウ 「読むこと」の領域では、文や句の意味についての知識だけでなく、目的に応じて筆者の意図や考えなどの必要な情報を正確に読み取る力や、文章や図表等から読み取った情報を基に判断して思考する力をみることができるようにした。
- エ 「書くこと」の領域では、基本的な単語や文法を用いて、日常的な場面の中で自分の考えなどを英語でまとめ、適切に表現する力をみることができるようにした。

Ⅲ 【本検査】教科別の結果

1 国 語（本検査）

（1）出題内容等

学習指導要領の趣旨に沿って、基礎的・基本的な知識・技能及び思考力・判断力・表現力等を適切にみることができるようにした。

大問一（放送による聞き取り）は、中学生が図書館のレファレンスコーナーを利用し、調べ学習を進めるための資料探しについて助言を受ける場面の会話を聞いて、内容を的確に理解するとともに、話し手の意図を考える問題である。

大問四（説明的な文章）(3)は、語句の意味を文脈に照らして考える問題、大問五（文学的な文章）(4)、(5)は、文章中の表現に着目しながら、登場人物の関係性の変化を考える問題であり、それぞれ理解力と表現力をみる問題である。大問五(2)では、授業でこの作品を読んだ生徒同士が意見交換を行う場面を設定し、文章中の表現に着目しながら登場人物の心情を読み解けるよう工夫した。

大問七（条件作文）は、日本の高校生に「自己評価」について質問した結果の資料を提示し、グラフから読みとったことを分析したうえで、自己評価を高めるために自分が取り組んでいることと、それがなぜ自己評価を高めることにつながるのかということについて、自分の考えを書く問題である。

（2）正答率の概況

抽出答案数=3,336

領域（事項）・内容		問題・配点	正答率（%）
話すこと・聞くこと	放送による聞き取り	一 8点	60.4
書くこと	条件作文	七 12点	44.4※
読むこと	説明的な文章	四 (2)(3)(4)(5)(6) 21点	49.3※
	文学的な文章	五 21点	57.0※
伝統的な言語文化と 国語の特質に関する 事項	伝統的な言語文化に 関する事項（古典）	六 18点	53.1※
	言葉の特徴やきまり に関する事項	四 (1) 2点	35.8
	漢字に関する 事項	読み	二 8点
書き		三 10点	51.7

※の数値は、部分点がある設問について得点率を正答率として計算してある。

（3）結果の説明

全体の平均点は52.8点で、前年度前期選抜と比べて6.8点高くなった。

領域（事項）・内容別の正答率は、伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項の「漢字に関する事項（読み）」が66.6%と最も高く、次いで、話すこと・聞くことの「放送による聞き取り」が60.4%であった。一方、伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項の「言葉の特徴やきまりに関する事項」が35.8%と最も低かった。

また、次の表にあるように、正答率が高かったのは、大問二「漢字（読み）」の(2)「旋律」、大問三「漢字（書き）」の(1)「群れ」及び大問一の(2)「発言の意図の理解」であった。一方、正答率が低かったのは、大問六の(2)(b)(ii)「文章中の表現及び登場人物の心情の理解と表現（10字以上、20字以内）」、大問四の(5)「文章の内容の理解と表現（25字以上、40字以内）」及び大問五の(5)I「文章の内容の理解と表現（20字以上、25字以内）」であった。無答率が高かったのも、同様に大問六の(2)(b)(ii)「文章中の表現及び登場人物の心情の理解と表現（10字以上、20字以内）」、大問五の(5)I「文章の内容の理解と表現（20字以上、25字以内）」及び大問四の(5)「文章の内容の理解と表現（25字以上、40字以内）」であった。

(4) 問題の内容

問	問題の内容			問題形式			正答率 (%)	無答率 (%)	
				選択	短答	記述			
一	(1)	放送による聞き取り 地域の図書館でレファレンスを利用する場面	会話の流れの理解	○			52.5	0	
	(2)		発言の意図の理解	○			83.7	0.0	
	(3)		図書分類から目的の資料を探す(2つ完答)	○			78.0	0.3	
	(4)		会話の流れの理解	○			27.4	0.3	
二	(1)	漢字(読み)	携(えて)[たずさ]		○		67.3	2.2	
	(2)		旋律[せんりつ]		○		90.4	1.7	
	(3)		掌握[しょうあく]		○		47.4	5.3	
	(4)		琴線[きんせん]		○		61.4	3.9	
三	(1)	漢字(書き)	群(れ)		○		85.6	4.9	
	(2)		奏(する)		○		28.1	31.6	
	(3)		任務		○		75.3	7.4	
	(4)		推移		○		43.4	17.5	
	(5)		博覧		○		26.2	26.0	
四	(1)	説明的な文章 『何のための「教養」か』	品詞の識別(形容詞)	○			35.8	1.0	
	(2)		文章の内容の理解	○			79.9	0.1	
	(3)		6点	文章の内容の理解(2つを選択)	○			54.8	0.4
			3点					16.4	
			無答					17.8	
	(4)		文章の内容の理解	○			36.2	1.7	
	(5)		4点	文章の内容の理解と表現(25字以上、40字以内)			○	11.9	32.5
			1~3点					11.2	
			無答						
	(6)		I	文章の内容の理解(5字)		○		59.7	7.5
II		文章の内容の理解	○			30.3	2.6		
五	(1)	文学的な文章 『本屋さんのダイアナ』	登場人物の心情の理解	○			80.6	0.5	
	(2)		(a)	文章中の表現についての理解(3字)		○		48.4	8.0
			(b)	登場人物の心情の理解	○			68.2	1.5
			(c)	文章の内容の理解(10字)		○		79.6	12.2
	(3)		登場人物の心情の理解	○			64.7	1.7	
	(4)		文章中の表現についての理解	○			64.0	2.7	
	(5)		4点	文章の内容の理解と表現(20字以上、25字以内)			○	17.2	32.7
			1~3点					13.7	
無答									
II	文章中の表現についての理解(2字)		○		26.2	15.2			
六	(1)	古典 『平治物語』	文章の内容の理解	○			37.0	2.4	
	(2)		(a)	文章中の表現についての理解	○			65.3	3.4
			(i)	文章の内容の理解	○			50.8	4.8
				4点	文章中の表現及び登場人物の心情の理解と表現(10字以上、20字以内)			○	5.8
	1~3点		8.2						
	無答								
	(3)		文章の内容の理解	○			72.7	6.4	
	(4)		文章の内容の理解	○			74.0	7.1	
(5)	漢文訓読法		○		62.0	8.6			
七	12点	条件作文 自己評価について	資料をふまえての二段落構成の作文(200字以内) ・前段は資料(グラフ)が示す結果について自分の考えを理由とともに述べる ・後段は自己評価を高めるための取り組みについて具体的に自分の考えを述べる			○	12.4	5.7	
	8~11点						23.1		
	4~7点						25.4		
	1~3点						12.7		
	無答								

※ 無答率の「0.0%」はごくわずかではあるが無解答の者がいた場合であり、「0%」は該当者がいない場合である。

2 社 会（本検査）

（1）出題内容等

各分野において、「基礎的・基本的な知識及び技能を身に付けているかをみることができる問題」を出題した。

「現代社会の諸問題に対する関心や理解の程度をみることができる問題」を多く出題した。具体的には、大問**1**(1)、大問**1**(3)、大問**6**(4)である。

「諸資料を活用し、社会的事象を判断・分析する力をみることができる問題」を多く出題した。具体的には、大問**1**(3)、大問**2**(4)、大問**3**(5)、大問**6**(4)である。

「社会的事象について思考・表現する力をみることができる問題」を、地理的分野、歴史的分野、公民的分野からそれぞれ1問ずつ出題した。具体的には、大問**3**(4)、大問**4**(3)、大問**6**(3)である。

総合問題と歴史的分野において、できごとなどを年代の古いものから順に並べ替える問題をそれぞれ1問ずつ出題した。具体的には、大問**1**(2)②、大問**5**(5)である。

（2）正答率の概況

抽出答案数=3,328

分 野 ・ 内 容		問 題・配 点	正答率 (%)	
総 合	総 合 問 題	1 12点	53.1	
地 理 的 分 野	日 本 地 理	2 15点	66.7	61.9※
	世 界 地 理	3 16点	57.1※	
歴 史 的 分 野	前 近 代 史	4 16点	67.2※	59.9※
	近 ・ 現 代 史	5 15点	52.6	
公 民 的 分 野	国民生活と経済・社会	6 13点	63.7※	53.4※
	日本の政治制度	7 13点	43.2	

※の数値は、部分点がある設問について得点率を正答率として計算してある。

（3）結果の説明

全体の平均点は57.7点で、前年度前期選抜と比べて3.0点低くなった。

分野・内容別の正答率は、歴史的分野の「前近代史」が67.2%と最も高く、公民的分野の「日本の政治制度」が43.2%と最も低かった。

また、次の表にあるように、小問で正答率が高かった問題は、大問**4**の(5)「調べ学習で設定したテーマ」、大問**5**の(2)「シベリア出兵」、大問**6**の(4)「日本における電子マネーの利用状況に関する資料の読み取り」であった。逆に正答率が低かった問題は、大問**5**の(5)「1949年以降のことから」、大問**7**の(4)「直接請求権」、大問**1**の(2)②「日本の民主政治のあゆみに関係することから」であった。

無答率が高かった問題は、大問**1**の(1)「アパルトヘイト」、大問**6**の(3)「金融政策の主な方法である公開市場操作についての記述」、大問**2**の(2)「世界遺産（知床）」であった。

(4) 問題の内容

問	問題の内容		問題形式			正答率 (%)	無答率 (%)	
			選択	短答	記述			
1	(1)	総合問題	アパルトヘイト	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	46.4	29.4	
	(2)		①	リンカン（リンカーン）のゲティスバーグでの演説	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	67.3	0.1
			②	日本の民主政治のあゆみに関係することがら	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	21.3	0.0
	(3)		政策決定過程への関与について、日本と諸外国の若者の意識を調査した結果の一部に関する資料の読み取り	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	77.4	0.3	
2	(1)	日本地理	東北地方	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	76.3	0.1	
	(2)		世界遺産（知床）	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	52.1	12.5	
	(3)		雨温図の読み取り	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	60.9	0.4	
	(4)		①	地形図の方位や距離等の読み取り	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	75.2	0
			②	地形図の方位や距離等の読み取り	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	69.0	0.0
3	(1)	世界地理	地球上の正反対にある地点	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	45.2	0.1	
	(2)		オセアニア州	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	61.3	1.0	
	(3)		プランテーション	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	76.7	9.6	
	(4)		4点	焼畑農業についての記述	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	53.1	
			1~3点		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	13.8	
			無答					8.1
(5)	アメリカ合衆国・ノルウェー・中国・日本の人口、自動車の保有台数及び電気自動車の保有台数に関する資料の読み取り	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	42.1	0.2			
4	(1)	前近代史	渡来人	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	81.1	3.1	
	(2)		平城京と奈良時代	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	62.3	0.1	
	(3)		4点	織田信長についての記述	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	24.2	
			1~3点		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	19.7	
			無答					12.2
	(4)		開国に関することがら	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	64.6	0.2	
(5)	調べ学習で設定したテーマ	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	93.8	0.3			
5	(1)	近・現代史	大日本帝国憲法	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	36.7	0.1	
	(2)		シベリア出兵	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	92.5	2.3	
	(3)		原敬の組織した内閣と立憲政友会	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	54.8	0.0	
	(4)		満州事変と日本の国際連盟脱退	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	73.2	0.0	
	(5)		1949年以降のことがら	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	5.9	0.3	
6	(1)	経済	間接金融と直接金融	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	72.1	0.2	
	(2)		金融機関の種類	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	65.9	2.4	
	(3)		4点	金融政策の主な方法である公開市場操作についての記述	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	24.3	
			1~3点		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	9.7	
			無答					14.3
(4)	日本における電子マネーの利用状況に関する資料の読み取り	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	87.5	0.2			
7	(1)	政治	新しい人権	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	39.8	0.1	
	(2)		間接民主制（議会制民主主義）	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	50.6	12.2	
	(3)		最高裁判所裁判官の国民審査	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	69.1	0.2	
	(4)		直接請求権	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	13.3	4.3	

※ 無答率の「0.0%」はごくわずかではあるが無解答の者がいた場合であり、「0%」は該当者がいない場合である。

3 数 学 (本検査)

(1) 出題内容等

大問1は、数と式の計算の内容に関する基本的な問題である。

大問2の(2)は、数量の関係を不等式で表す問題である。大問2の(4)は、2つのさいころの出た目の数に対応して定まる値が、整数となる確率を求める問題である。大問2の(5)は、与えられた条件を満たす円の中心を作図によって求める問題であり、作図の基本的技能が身に付いているかどうかをみるための出題である。

大問3の(2)②は、平行四辺形が与えられた条件を満たすとき、その頂点の座標を求める問題である。

大問4は、円周角の定理と平行線の性質を利用し、三角形の相似を証明する問題である。

大問5は、自然数を規則に従って並べたときに成り立つ性質に関する問題である。題意を的確に読み取り、思考し、判断し、表現する力を問う問題となっている。

(2) 正答率の概況

抽出答案数=3,337

領 域 ・ 内 容		問 題 ・ 配 点		正答率 (%)	
数 と 式	数 と 式 の 計 算	1	30点	91.1	71.9※
	文 字 式 の 利 用	2(2)	5点	47.0	
	式 の 活 用	5	15点	49.3※	
図 形	平 面 図 形	2(5)、4(2)	10点	21.3	52.0※
	空 間 図 形	2(3)	5点	52.7	
	図 形 の 証 明	4(1)	10点	72.2※	
関 数	関 数 $y = ax^2$	3	15点	36.3	
資料の活用	代 表 値	2(1)	5点	78.9	69.8
	確 率	2(4)	5点	60.7	

※の数値は、部分点がある設問について得点率を正答率として計算してある。

(3) 結果の説明

全体の平均点は59.3点で、前年度前期選抜と比べて7.9点高くなった。

領域・内容別の正答率は、数と式が71.9%と最も高く、関数が36.3%と最も低かった。

また、次の表にあるように、数と式の領域では、大問1の(1)「正の数・負の数(乗法)」の正答率が98.0%と最も高く、大問5の(3)「式の活用(数の規則性)」の正答率が6.5%と最も低かった。

図形の領域では、大問4の(1)(a)「図形の証明(穴埋め)」の正答率が88.7%と最も高く、大問4の(2)「平面図形(相似の応用)」の正答率が3.4%と最も低かった。

関数の領域では、大問3の(1)「2点を通る直線の式」の正答率が76.9%と最も高く、大問3の(2)②「点の座標」の正答率が2.5%と最も低かった。

資料の活用の領域では、大問2の(1)「資料の散らばりと代表値(中央値)」の正答率が78.9%、大問2の(4)「確率」の正答率が60.7%であった。

無答率が高かったのは、大問3の(2)②「点の座標」、大問5の(2)「式の活用(文字を用いた式)」であった。

(4) 問題の内容

問	問題の内容		問題形式			正答率 (%)	無答率 (%)	
			選択	短答	記述			
1	(1)	数と式	正の数・負の数 (乗法)		○	98.0	0.0	
	(2)		正の数・負の数 (四則計算：累乗を含む)		○	90.7	0.4	
	(3)		文字式の計算		○	92.9	0.9	
	(4)		連立二元一次方程式		○	87.7	2.0	
	(5)		平方根 (根号を含む式の計算)		○	89.1	1.9	
	(6)		二次方程式 (解の公式)		○	88.0	3.1	
2	(1)	資料	資料の散らばりと代表値 (中央値)		○	78.9	0.2	
	(2)	数と式	不等式		○	47.0	4.3	
	(3)	図形	空間図形 (円柱の表面積)		○	52.7	2.6	
	(4)	資料	確率		○	60.7	5.3	
	(5)	図形	平面図形 (作図)		○	39.2	18.4	
3	(1)	関数	2点を通る直線の式		○	76.9	5.8	
	(2) ①		四角形の面積		○	29.5	29.6	
	(2) ②		点の座標		○	2.5	65.6	
4	(1) (a)	図形	図形の証明 (穴埋め)		○	88.7	0.3	
			図形の証明 (穴埋め)		○	88.6	0.3	
	(1) (c)		6点	図形の証明 (三角形の相似)		○	37.2	/
			3点				3.9	
			無答				30.3	
	(2)		平面図形 (相似の応用)		○	3.4	36.7	
5	(1) (ア)	数と式	式の活用 (数の規則性)		○	88.5	4.0	
			(1) (イ)	式の活用 (数の規則性)		○	74.4	6.7
	(2)		4点	式の活用 (文字を用いた式)		○	20.0	/
			2点				15.3	
			無答				40.0	
	(3)		式の活用 (数の規則性)		○	6.5	28.3	

※ 無答率の「0.0%」はごくわずかではあるが無解答の者がいた場合であり、「0%」は該当者がいない場合である。

4 理 科 (本検査)

(1) 出題内容等

学習指導要領に基づいて、基礎的・基本的な知識・技能の習得、科学的なものの見方や思考力・判断力・表現力を身に付けているかをみることができるようにした。本年度も「観察・実験を題材とした問題」、「身近な生活に関わりのある問題」を出題した。小問集合以外では、「観察・実験を題材とした問題」は大問**2・3・4・5・6・7・8・9**、「身近な生活に関わりのある問題」は大問**2・6・8**である。表現力をみる問題として、理由を自分の言葉で説明する記述式の問題や、作図やグラフの問題を取り入れている。記述式は、昨年度の前期選抜4問に対し、本年度の本検査は3問である。作図やグラフは、昨年度の前期選抜2問に対し、本年度の本検査は3問である。

(2) 正答率の概況

抽出答案数=3,328

分 野 ・ 内 容		問 題 ・ 配 点	正答率 (%)
第1分野	物 理	物体の置き方と圧力	1(4) 3点 74.0
		電流とその利用	3 12点 46.7
		運動とエネルギー	9 10点 22.8
	化 学	非電解質	1(3) 3点 92.5
		身の回りの物質	5 10点 60.3
		化学変化と原子・分子	7 12点 56.4※
第2分野	生 物	細胞壁	1(1) 3点 90.4
		植物の生活と種類	4 12点 78.2
		生命の連続性	8 10点 56.4
	地 学	銀河系	1(2) 3点 75.2
		大地の成り立ちと変化	2 12点 42.3
		気象とその変化	6 10点 41.1

※の数値は、部分点がある設問について得点率を正答率として計算してある。

(3) 結果の説明

全体の平均点は54.6点で、前年度前期選抜と比べて5.8点高くなった。

分野・内容別の正答率は、第2分野・生物の大問**4**「植物の生活と種類」が78.2%と最も高く、次いで第1分野・化学の大問**5**「身の回りの物質」が60.3%であった。逆に、第1分野・物理の大問**9**「運動とエネルギー」が22.8%と最も低かった。なお、大問**1**は各分野の基礎的・基本的な知識を問う小問集合であり、正答率の平均が83.0%であった。

また、各分野の小問集合である大問**1**を除くと、次の表にあるように、小問で正答率が高かった問題は、大問**5**の(2)「ろ紙の目の大きさと水の粒子、ミョウバンの結晶」、大問**2**の(1)「火成岩の組織と種類」及び大問**4**の(1)「ツユクサの蒸散を調べる実験で水面に油を注ぐ理由」であった。逆に、正答率が低かった問題は、大問**9**の(4)「ばねばかりの目もりが示す力の大きさの計算」、大問**9**の(3)「おもりを持ち上げる力の分解の作図」及び大問**9**の(2)「水の底にあるおもりに対してはたらく浮力の大きさの計算」であった。

無答率が高かったのは、大問**9**の(4)「ばねばかりの目もりが示す力の大きさの計算」、大問**9**の(3)「おもりを持ち上げる力の分解の作図」及び大問**6**の(2)「温暖前線が通過する際の気温の変化」であった。

(4) 問題の内容

問	問題の内容	問題形式			正答率 (%)	無答率 (%)
		選択	短答	記述		
1	(1) 細胞壁		○		90.4	1.5
	(2) 銀河系		○		75.2	1.2
	(3) 非電解質	○			92.5	0.0
	(4) 物体の置き方と圧力	○			74.0	0.1
2	(1) 火成岩の組織と種類	○			82.6	0.0
	(2) 火山岩中の斑晶のできかた	○			23.0	0.1
	(3) 斑れい岩の組織とふくまれる鉱物	○			35.6	0.3
	(4) ボーリングの結果から地下の断層の推定	○	○		28.0	3.3
3	(1) 電子線のように	○			68.2	0.2
	(2) 電流計と電圧計のつなぎ方の作図			○	21.9	3.8
	(3) U字型磁石の磁界とコイルのまわりにできる磁界の作用	○			35.3	1.4
	(4) 抵抗をかえたときのコイルにはたらく力		○		61.3	3.0
4	(1) ツルクサの蒸散を調べる実験で水面に油を注ぐ理由			○	82.6	2.4
	(2) 葉の裏側から蒸散した水蒸気量の合計の計算	○			68.8	0.4
	(3) 蒸散が行われる器官	○			81.4	0.1
	(4) 装置A～Cの質量が減少した理由		○		80.0	2.1
5	(1) 水溶液中のミョウバンの質量の比較	○			71.6	0.7
	(2) ろ紙の目の大きさと水の粒子、ミョウバンの結晶	○			84.6	0.4
	(3) ミョウバンの結晶が混ざったミョウバン水溶液をろ過したろ液の質量パーセント濃度の計算	○			42.4	2.0
	(4) ① 水溶液から塩化ナトリウムをとり出す方法 ② ミョウバンと塩化ナトリウムの溶解度の水の温度による変化	○		○	79.8 23.3	0.9 14.7
6	(1) 移動性高気圧や低気圧の移動	○			68.8	0.8
	(2) 温暖前線が通過する際の気温の変化			○	34.1	20.0
	(3) 低気圧のまわりに吹く風の向き	○			31.3	0.8
	(4) 気温や湿度の観測データと気象現象、放射冷却	○			30.2	1.8
7	(1) スチールウールの燃焼	○			80.4	0.6
	(2) 酸素と銅の化学反応式		○		59.4	6.2
	(3) 3点 1～2点 無答 銅と反応する酸素の質量[グラフ]			○	27.7 4.8	 9.2
	(4) 酸化マグネシウムの質量の計算		○		55.6	9.7
8	(1) 土の中にいる微生物によるデンプンの分解	○			71.7	1.2
	(2) 落ち葉などの分解にかかわる生物の組み合わせ	○			47.5	1.3
	(3) 菌類・細菌類の役割	○			50.0	1.9
	(4) 生態系における二酸化炭素の流れ	○			56.3	2.3
9	(1) 仕事の原理		○		65.4	7.2
	(2) 水の底にあるおもりにはたらく浮力の大きさの計算		○		16.3	10.6
	(3) おもりを持ち上げる力の分解の作図			○	5.3	28.0
	(4) ばねばかりの目もりが示す力の大きさの計算		○		4.0	28.6

※ 無答率の「0.0%」はごくわずかではあるが無解答の者がいた場合であり、「0%」は該当者がいない場合である。

5 英 語 (本検査)

(1) 出題内容等

出題内容は、知識や理解力をみる基礎・基本の問題及び、活用・応用として「思考力・判断力・表現力」をみる問題を出題した。「思考力・判断力・表現力」をみる問題に該当するのは、大問4 No. 2②、大問6、大問7(2)①、大問8(4)及び大問9(4)である。

大問4 No. 2②はリスニング問題で、英語の文章を聞き、その内容について答える問題である。聞いた内容を「理解」した上で、まとめの文を完成させるために適切な単語を「思考・判断」して書く形式になっている。

大問6は英作文問題で、絵を見て状況を「理解」し、絵の中の人物の立場に立って「思考・判断」し、英文で適切に「表現」する問題であり、実践的なコミュニケーションをより強く意識した問題となっている。受検者が場面設定をより理解しやすいように、絵を4コマにした。

大問7(2)①、大問8(4)及び大問9(4)は、英文から複数の情報を正しく読み取り、内容を「理解」したうえで「思考・判断」し、適切に「表現」する問題になっている。大問9(4)は、本年度、出題方式を変更した。

(2) 正答率の概況

抽出答案数=3,336

領 域 ・ 内 容		問題・配点	正答率 (%)	
聞くこと (話すこと)	リスニングテスト (対話を聞いて答える)	1 9点	83.6	70.0
	リスニングテスト (聞いて絵を見て答える)	2 6点	81.1	
	リスニングテスト (対話やまとまりのある文章を聞いて答える)	3 6点	56.1	
	リスニングテスト (まとまりのある文章を聞いて答える) 単語のつづり	4 12点	61.1	
読むこと (話すこと)	短い文章の読解	7 18点	67.2	61.0※
	長い文章の読解	8 13点	52.9※	
	対話文の流れの理解	9 13点	59.7※	
書くこと (話すこと)	文法及び文構造	5 15点	60.4	56.2※
	英語による自己表現 (絵を見て状況を把握し、対話を完成する)	6 8点	35.4※	

※の数値は、部分点がある設問について得点率を正答率として計算してある。

(3) 結果の説明

全体の平均点は61.7点で、前年度前期選抜と比べて7.1点高くなった。

領域・内容別の正答率は、聞くこと(話すこと)の「リスニングテスト(対話を聞いて答える)」が83.6%と最も高かった。逆に、書くこと(話すこと)の「英語による自己表現(絵を見て状況を把握し、対話を完成する)」が35.4%と最も低かった。

また、次の表にあるように、正答率が高かったのは、大問1のNo.1「対話の最後の発話に対する応答を選ぶ」、大問1のNo.2「対話の最後の発話に対する応答を選ぶ」及び大問2のNo.1「対話を聞いて絵を選ぶ」であった。逆に、正答率が低かったのは、大問8の(2)「英語の質問に英語で答える」、大問9の(4)「英語による自己表現」(会話文の流れに合うように表現する)及び大問8の(4)「文脈に合わせて英語を補充する」であった。

無答率が高かったのは、大問9の(4)「英語による自己表現」、大問4のNo.2の②「文章を聞き、その内容を表す文の空欄に birthday のつづりを完成する」であった。前年度に比して、読むことの正答率は約11%、書くことの正答率も約11%向上している。

なお、今年度より検査時間が50分から60分になり、10分長くなった。

(4) 問題の内容

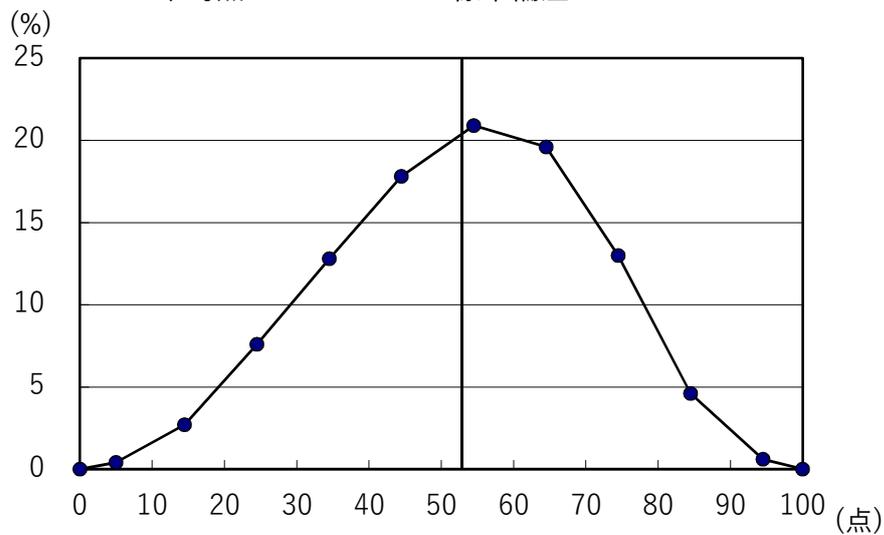
問	問題の内容		問題形式			正答率 (%)	無答率 (%)	
			選 択	短 答	記 述			
1	No. 1	対話の最後の発話に対する応答を選ぶ	○			94.5	0	
	No. 2	対話の最後の発話に対する応答を選ぶ	○			87.9	0.0	
	No. 3	対話の最後の発話に対する応答を選ぶ	○			68.3	0.0	
2	No. 1	対話を聞いて絵を選ぶ	○			87.7	0	
	No. 2	文章を聞いて絵を選ぶ	○			74.5	0	
3	No. 1	文章を聞いて英語を選ぶ	○			57.9	0.1	
	No. 2	対話を聞いて英語を選ぶ	○			54.3	0	
4	No. 1	① 文章を読み、その内容を表す文の空欄に future のつづりを完成する		○		72.6	9.4	
		② 文章を読み、その内容を表す文の空欄に popular のつづりを完成する		○		73.0	11.0	
	No. 2	① 文章を読み、その内容を表す文の空欄に February のつづりを完成する		○		51.1	19.8	
		② 文章を読み、その内容を表す文の空欄に birthday のつづりを完成する		○		47.7	30.7	
5	(1)	動詞 be を過去形 were にする		○		59.1	1.5	
	(2)	形容詞 hot を最上級 hottest にする		○		67.6	3.6	
	(3)	語順整序 (To be a chef is one of my dreams.)	○			60.1	0.3	
	(4)	語順整序 (What sports do you like to watch on TV?)	○			62.9	0	
	(5)	語順整序 (It made me interested in recycling.)	○			52.1	0.6	
6	8点	自己表現 英語による自己表現(絵を見て状況を表現する) (解答例) I'm sorry. When we were playing soccer in my yard, our soccer ball went into your yard. Will you get and bring it for us? (25語)			○	6.7		
	5~7点					24.4		
	1~4点					33.4		
	無答						10.9	
7	(1)	① 文脈に合わせて英語を選ぶ	○			69.2	0.0	
		② 文脈に合わせて英語を選ぶ	○			71.0	0.1	
	(2)	① 内容と合う英語を補充する		○		44.8	6.0	
		② 内容と合う英語を選ぶ	○			74.4	0.3	
	(3)	① 内容と合う英語を選ぶ	○			86.2	0.1	
		② 内容と合う英語を選ぶ	○			57.6	0.2	
8	(1)	内容と合う絵を選ぶ	○			88.0	0.4	
	(2)	4点				13.8		
		1~3点	英語の質問に英語で答える			○	33.3	
		無答					16.6	
	(3)	内容と合う英語を選ぶ	○			59.5	0.9	
(4)	文脈に合わせて英語を補充する		○		33.8	16.7		
9	(1)	対話文読解・表現 文脈に合わせて英語を選ぶ	○			74.6	0.3	
	(2)	文脈に合わせて英語を選ぶ	○			58.4	0.4	
	(3)	文脈に合わせて英語を選ぶ	○			72.7	0.4	
	(4)	4点	英語による自己表現(会話文の流れに合うように表現する) (解答例) a person who takes care of people at a hospital			○	20.4	
		1~3点					25.7	
	無答					33.7		

※ 無答率の「0.0%」はごくわずかではあるが無解答の者がいた場合であり、「0%」は該当者がいない場合である。

IV 【本検査】受検者の得点分布

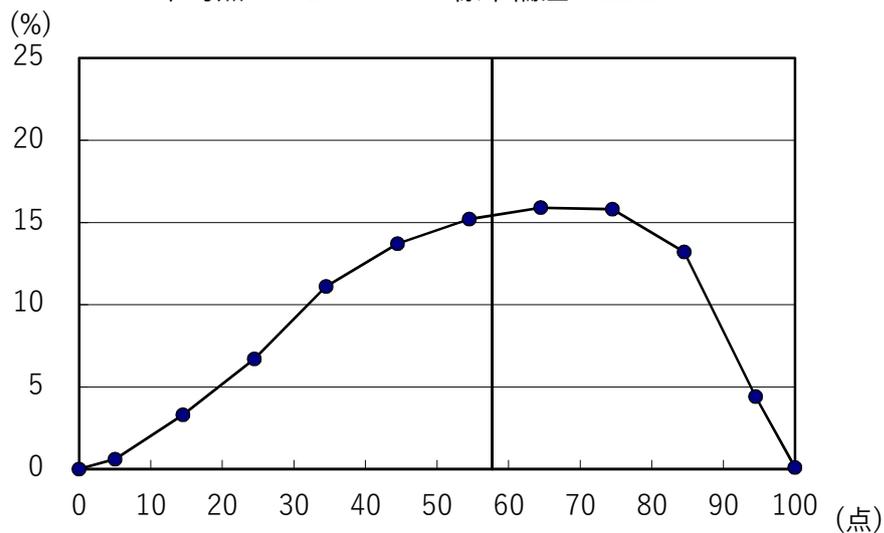
1 国語

平均点 52.8 標準偏差 17.7



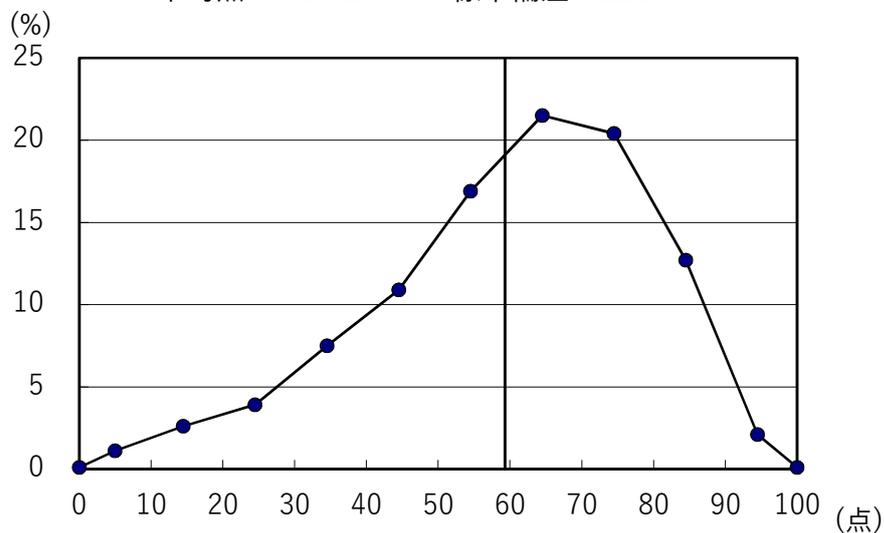
2 社会

平均点 57.7 標準偏差 21.3



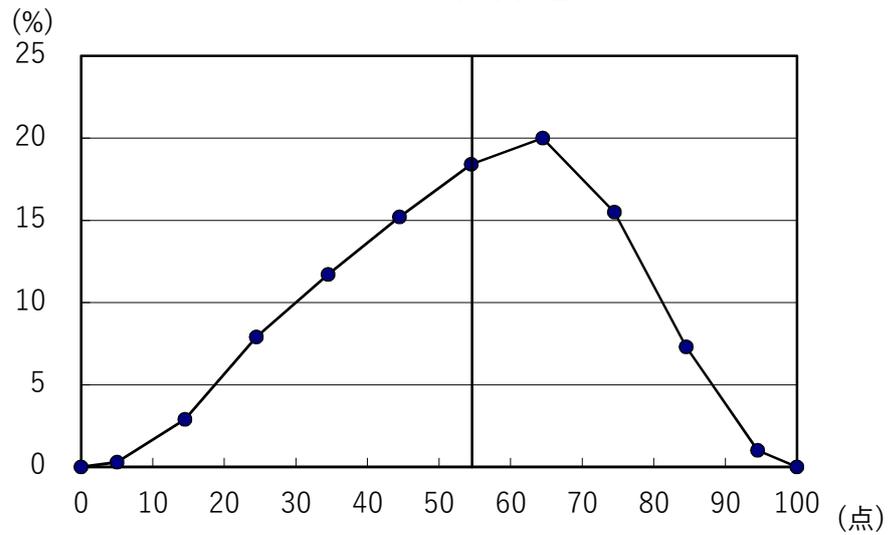
3 数学

平均点 59.3 標準偏差 21.3



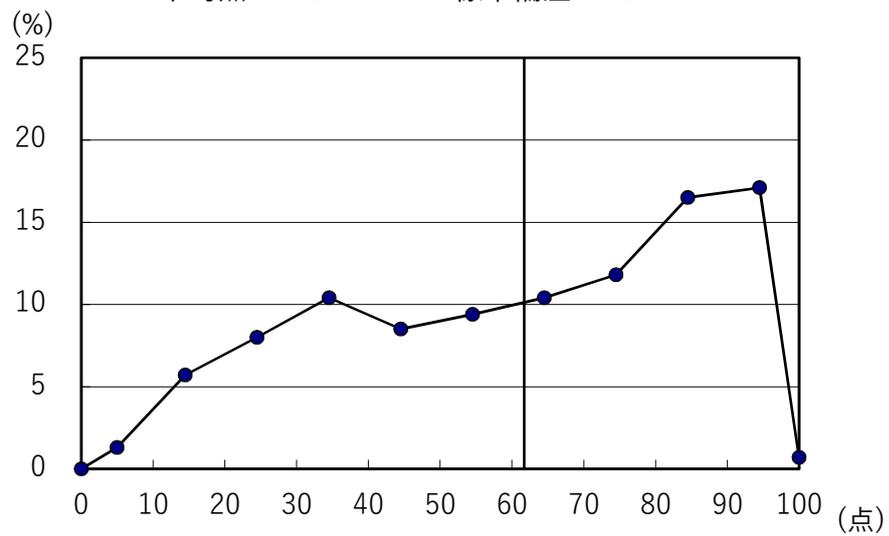
4 理科

平均点 54.6 標準偏差 18.7



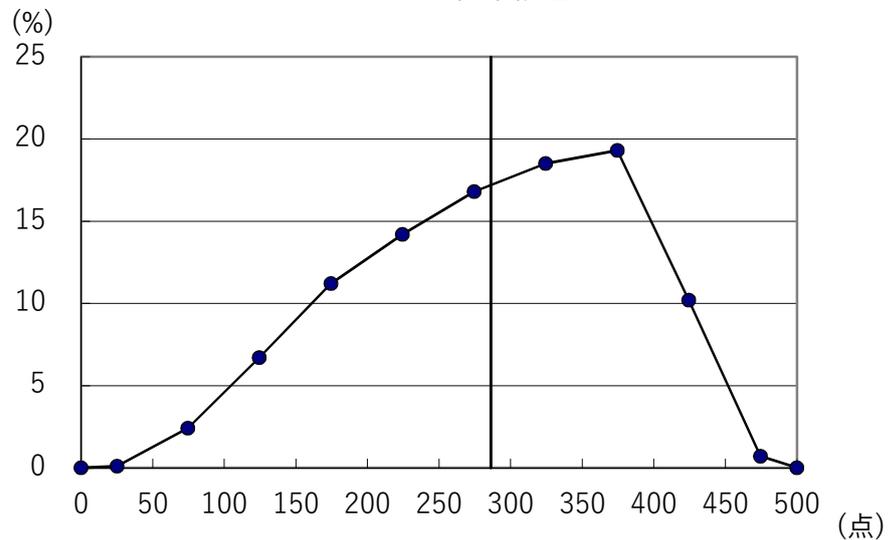
5 英語

平均点 61.7 標準偏差 26.1



6 5教科得点合計

平均点 286.2 標準偏差 94.0



V 【追検査】教科別の概要

1 国 語（追検査）

（1）出題内容等

学習指導要領の趣旨に沿って、基礎的・基本的な知識・技能及び思考力・判断力・表現力等を適切にみることができるようにした。

大問一（放送による聞き取り）は、日本語では縦書きと横書きの両方が用いられることを話題にしている図書委員の会話を聞いて、内容を的確に理解するとともに、話題と発言の整合性や、発言の意図を考える問題である。

大問四（説明的な文章）(4)は文章の展開に沿って筆者の主張をとらえる問題、(5)は比喻表現を具体的内容に言い換えることを通して、筆者の主張をまとめる問題であり、それぞれ理解力と表現力をみる問題である。大問五（文学的な文章）(5)は、授業でこの文章を読んだ生徒同士が意見交換を行う場面を設定し、場面の展開をおさえながら登場人物の心情を理解できるよう工夫した。大問六(6)は文章のまとめに現れる教訓について自分の言葉で表現する問題で、理解力と表現力をみるねらいで出題した。

大問七（条件作文）は、難しいことを人に易しい言葉で説明することについて、聞き手のためにどのような言葉の工夫をするか、自分の考えを書く問題である。

領 域（事 項） ・ 内 容		問 題・配 点	
話すこと・聞くこと	放送による聞き取り	一	8点
書くこと	条件作文	七	12点
読むこと	説明的な文章	四	20点
	文学的な文章	五 (2)(3)(4)(5)	21点
伝統的な言語文化と 国語の特質に関する 事項	伝統的な言語文化に関する 事項（古典）	六	19点
	言葉の特徴やきまりに関する 事項	五 (1)	2点
	漢字に関する 事項	読み	二
書き		三	10点

(2) 問題の内容

問	問題の内容		問題形式				
			選択	短答	記述		
一	(1)	放送による聞き取り 日本語の縦書きと横書きについての会話	会話の流れの理解	<input type="radio"/>			
	(2)		会話の理解	<input type="radio"/>			
	(3)		会話の流れの理解	<input type="radio"/>			
	(4)		話し合いの流れを受けてのまとめ	<input type="radio"/>			
二	(1)	漢字 (読み)	巖(か)[おごそ]		<input type="radio"/>		
	(2)		誘致[ゆうち]		<input type="radio"/>		
	(3)		山麓[さんろく]		<input type="radio"/>		
	(4)		寡黙[かもく]		<input type="radio"/>		
三	(1)	漢字 (書き)	省(く)		<input type="radio"/>		
	(2)		製造		<input type="radio"/>		
	(3)		補修		<input type="radio"/>		
	(4)		円熟		<input type="radio"/>		
	(5)		暮改		<input type="radio"/>		
四	(1)	説明的な文章 『新装版 私の絵本ろん』	文章の内容の理解	<input type="radio"/>			
	(2)		文章の内容の理解(11字)		<input type="radio"/>		
	(3)		文章の内容の理解	<input type="radio"/>			
	(4)		文章の内容の理解(15字)		<input type="radio"/>		
	(5)		I	文章の内容の理解	<input type="radio"/>		
			II	文章の内容の理解と表現(20字以上、30字以内)			<input type="radio"/>
五	(1)	文学的な文章 『楯挽道守』	動詞の活用の種類	<input type="radio"/>			
	(2)		登場人物の行動の理解	<input type="radio"/>			
	(3)		登場人物の心情の理解	<input type="radio"/>			
	(4)		(a)	登場人物の心情の理解	<input type="radio"/>		
			(b)	文章中の表現の理解(5字)		<input type="radio"/>	
			(c)	文章の内容の理解(13字以内)		<input type="radio"/>	
	(5)		(i)	登場人物の心情の理解	<input type="radio"/>		
			(ii)	登場人物の心情の理解(3字)		<input type="radio"/>	
			(iii)	文章の内容の理解と表現(15字以内)			<input type="radio"/>
六	(1)	古典 『伊曾保物語』	敬語(謙讓語)		<input type="radio"/>		
	(2)		文章の内容の理解	<input type="radio"/>			
	(3)		文章の内容の理解	<input type="radio"/>			
	(4)		文章の内容の理解(1字)		<input type="radio"/>		
	(5)		文章の内容の理解(3字)		<input type="radio"/>		
	(6)		文章の内容の理解と表現(15字以内)			<input type="radio"/>	
七	条件作文 「難しいことを人に易しい言葉で説明すること」について	条件をふまえて書く二段落構成の作文(200字以内) ・前段は人の説明を聞いて理解できた体験を、理由とともに述べる ・後段は「難しいことを人に易しい言葉で説明すること」について、聞き手のために伝える言葉にどのような工夫が必要かを書く			<input type="radio"/>		

2 社 会 (追検査)

(1) 出題内容等

各分野において、「基礎的・基本的な知識及び技能を身に付けているかをみることができる問題」を出題した。

「現代社会の諸問題に対する関心や理解の程度をみることができる問題」を多く出題した。具体的には、大問**1(4)**、大問**3(3)**、大問**6(2)**、大問**6(4)**、大問**7(2)**である。

「諸資料を活用し、社会的事象を判断・分析する力をみることができる問題」を多く出題した。具体的には、大問**1(4)**、大問**2(4)**、大問**3(5)**、大問**6(4)**である。

「社会的事象について思考・表現する力をみることができる問題」を、地理的分野、歴史的分野、公民的分野からそれぞれ1問ずつ出題した。具体的には、大問**2(3)**、大問**4(2)**、大問**7(3)**である。

総合問題と歴史的分野において、できごとなどを年代の古いものから順に並べ替える問題を、総合問題から1問、歴史的分野から2問出題した。具体的には、大問**1(2)**、大問**4(4)**、大問**5(2)**である。

分 野 ・ 内 容		問 題・配 点
総 合	総 合 問 題	1 12点
地 理 的 分 野	日 本 地 理	2 16点
	世 界 地 理	3 15点
歴 史 的 分 野	前 近 代 史	4 16点
	近 ・ 現 代 史	5 15点
公 民 的 分 野	国民生活と経済・社会	6 13点
	日 本 の 政 治 制 度	7 13点

(2) 問題の内容

問		問題の内容		問題形式			
				選択	短答	記述	
1	(1)	総合問題	イギリス・フランス・ドイツ・スウェーデンの比較	<input type="radio"/>			
	(2)		ヨーロッパにおける経済面や政治面での統合が進むできごとが起こったのと同じ年に、日本で起こっていたできごと	<input type="radio"/>			
	(3)		産業の空洞化		<input type="radio"/>		
	(4)		2018年時点でのEU加盟国がそれぞれ加盟した時期と一人あたりの国民総所得に関する資料の読み取り	<input type="radio"/>			
2	(1)	日本地理	大津市		<input type="radio"/>		
	(2)		瀬戸内における農業用水を確保するための工夫	<input type="radio"/>			
	(3)		東京都における1日の人口移動の様子についての記述			<input type="radio"/>	
	(4)		①	新旧の地形図の読み取り	<input type="radio"/>		
			②	地形図の方位や距離等の読み取り	<input type="radio"/>		
3	(1)	世界地理	図中の5つの首都のうち温帯気候に属さないもの	<input type="radio"/>			
	(2)		イスラム教	<input type="radio"/>			
	(3)		バイオ燃料（バイオエタノール）		<input type="radio"/>		
	(4)		レアメタル		<input type="radio"/>		
	(5)		オーストラリア・カナダ・中国・ロシア及び日本の人口、穀物自給率、一人あたりの国民総所得に関する資料の読み取り	<input type="radio"/>			
4	(1)	前近代史	「後漢書」と「魏志」の倭人伝	<input type="radio"/>			
	(2)		班田収授法についての記述			<input type="radio"/>	
	(3)		狂言		<input type="radio"/>		
	(4)		18世紀に世界で起こったことから	<input type="radio"/>			
	(5)		調べ学習で設定したテーマ	<input type="radio"/>			
5	(1)	近・現代史	福沢諭吉の思想	<input type="radio"/>			
	(2)		大正から昭和初期に起こったことから	<input type="radio"/>			
	(3)		GHQ		<input type="radio"/>		
	(4)		戦後の日本の民主化を進めるための改革	<input type="radio"/>			
	(5)		所得倍増計画		<input type="radio"/>		
6	(1)	経済	企業に関することから	<input type="radio"/>			
	(2)		循環型社会		<input type="radio"/>		
	(3)		PL法		<input type="radio"/>		
	(4)		プラスチックごみ問題に関する国民の意識に関する資料の読み取り	<input type="radio"/>			
7	(1)	政治	国会と内閣の持つ権限		<input type="radio"/>		
	(2)		女性の社会進出	<input type="radio"/>			
	(3)		法律が制定されるまでの過程についての記述			<input type="radio"/>	
	(4)		衆議院議員・参議院議員・県知事・市長	<input type="radio"/>			

3 数 学 (追検査)

(1) 出題内容等

大問1は、数と式の計算の内容に関する基本的な問題である。

大問2は、「図形」、「関数」、「資料の活用」の各領域から基本的な内容について出題した。大問2(5)は、与えられた条件を満たす点を作図によって求める問題であり、作図の基本的技能が身に付いているかどうかをみるための出題である。

大問3(2)②は、2つの図形の面積比が与えられたときに、点の座標を求める問題である。

大問4は、合同な図形の性質を利用して、点が線分の midpoint であることを証明する問題である。

大問5は、三角形が直線上を移動するときに、頂点が移動した跡の長さや、辺が通過してできた部分の面積を求める問題である。題意を読み取り、思考し、判断し、表現する力を問う問題となっている。

領 域 ・ 内 容		問 題 ・ 配 点	
数 と 式	数 と 式 の 計 算	1	30点
図 形	平 面 図 形	2(5)、4(2)、5	25点
	空 間 図 形	2(3)	5点
	図 形 の 証 明	4(1)	10点
関 数	一 次 関 数 の 利 用	2(1)	5点
	関 数 $y = ax^2$	3	15点
資料の活用	代 表 値	2(2)	5点
	確 率	2(4)	5点

(2) 問題の内容

問		問題の内容		問題形式			
				選択	短答	記述	
1	(1)	数と式	正の数・負の数 (除法)		○		
	(2)		正の数・負の数 (四則計算：累乗を含む)		○		
	(3)		文字式の計算		○		
	(4)		文字式の利用 (等式の変形)		○		
	(5)		平方根 (根号を含む式の計算)		○		
	(6)		二次方程式		○		
2	(1)	関数	一次関数 (x, yの増加量)	○			
	(2)	資料	資料の散らばりと代表値 (平均値)		○		
	(3)	図形	空間図形 (正四角錐の表面積)		○		
	(4)	資料	確率		○		
	(5)	図形	平面図形 (作図)			○	
3	(1)	関数	関数 $y = ax^2$ (関数の決定)		○		
	(2)		①	線分の長さの比		○	
			②	点の座標		○	
4	(1)	図形	(a) 図形の証明 (穴埋め)	○			
			(b) 図形の証明 (穴埋め)	○			
			(c) 図形の証明 (三角形の合同)			○	
	(2)	平面図形 (三平方の定理の利用)		○			
5	(1)	図形	平面図形 (扇形の中心角)		○		
	(2)		平面図形 (扇形の弧の長さ)			○	
	(3)		平面図形 (扇形の弧の長さ)		○		
	(4)		平面図形 (扇形の面積)		○		

4 理 科 (追検査)

(1) 出題内容等

学習指導要領に基づいて、基礎的・基本的な知識・技能の習得、科学的なものの見方や思考力・判断力・表現力を身に付けているかをみることができるようにした。本年度も「観察・実験を題材とした問題」、「身近な生活に関わりのある問題」を出題した。小問集合以外では、「観察・実験を題材とした問題」は大問**2・3・4・5・6・7・8・9**、「身近な生活に関わりのある問題」は大問**2・4・5・6・8**である。表現力をみる問題として、理由を自分の言葉で説明する記述式の問題や、作図の問題を取り入れている。記述式は、本年度の本検査3問に対し、本年度の追検査は5問である。作図やグラフは、本年度の本検査3問に対し、本年度の追検査は1問である。

分 野 ・ 内 容			問 題 ・ 配 点	
第 1 分 野	物 理	等速直線運動	1(4)	3点
		電流とその利用	5	12点
		身近な物理現象	9	10点
	化 学	単体	1(1)	3点
		身の回りの物質	3	12点
		化学変化とイオン	7	10点
第 2 分 野	生 物	DNA	1(3)	3点
		植物の生活と種類	2	12点
		動物の生活と生物の変遷	6	10点
	地 学	日本列島付近のプレート運動	1(2)	3点
		気象とその変化	4	10点
		地球と宇宙	8	12点

(2) 問題の内容

問	問題の内容	問題形式		
		選択	短答	記述
1	(1) 単体		○	
	(2) 日本列島付近のプレート運動	○		
	(3) DNA		○	
	(4) 等速直線運動		○	
2	(1) マツの雄花と今年の雌花の位置	○		
	(2) 種子		○	
	(3) マツの花粉の空気袋の役割			○
	(4) 種子植物や花がさかない植物の特徴	○		
3	(1) 発生させた酸素の集め方	○		
	(2) 装置からはじめに出てくる気体をすてる理由			○
	(3) 酸素を発生させる方法	○		
	(4) 二酸化炭素の化学式、水に溶けたときに同じ性質になる気体	○	○	
4	(1) 露点		○	
	(2) 部屋全体の空気に含まれる水蒸気量の計算		○	
	(3) 湿度についての説明	○		
	(4) 加湿器を使用した後の部屋の湿度の計算		○	
5	(1) 1200Wのドライヤーに流れる電流の大きさ	○		
	(2) 家庭の電気配線を直列にしたときの問題点			○
	(3) ブレーカーが作動したときに使用していた電気器具	○		
	(4) 白熱電球とLED電球が消費する電力量の計算		○	
6	(1) 解剖ばさみの扱い方とそのように扱う理由	○		○
	(2) スルメイカと脊椎動物の各器官	○		
	(3) ① 無脊椎動物の特徴と分類 ② アサリとマイマイのあしの動かし方	○		
7	(1) 水酸化ナトリウム水溶液の質量パーセント濃度の計算		○	
	(2) ろ紙やpH試験紙を食塩水でしめらせる理由	○		
	(3) 水酸化物イオン	○	○	
	(4) 酸性の性質を示すもととなるものを調べるのに適さない試薬	○		
8	(1) 流星、衛星	○		
	(2) 月が見える位置と満ち欠け	○		
	(3) ① 月食のときの太陽、地球、月の並び方と欠けて見える理由 ② 月食のときの月が見える位置と欠け方	○		○
9	(1) 光が空気中からガラスの中へ、及びガラスの中から空気中へ進むときの入射角と屈折角の関係	○		
	(2) 光が空気中から直方体ガラス中を通り空気中へ進むときの道すじの作図			○
	(3) 空気と半円形ガラスの境界(平面部)で全反射が起きるときの条件		○	
	(4) 半円形ガラスの向こう側にある物体の見え方	○		

5 英 語 (追検査)

(1) 出題内容等

出題内容は、知識や理解力をみる基礎・基本の問題及び、活用・応用として「思考力・判断力・表現力」をみる問題を出題した。「思考力・判断力・表現力」をみる問題に該当するのは、大問**4** No. **2**①、大問**6**、大問**7**(3)①、大問**8**(4)及び大問**9**(4)である。

大問**4** No. **2**①はリスニング問題で、英語の文章を聞き、その内容について答える問題である。聞いた内容を「理解」した上で、まとめの文を完成させるために適切な単語を「思考・判断」して書く形式になっている。

大問**6**は英作文問題で、絵を見て状況を「理解」し、絵の中の人物の立場に立って「思考・判断」し、英文で適切に「表現」する問題であり、実践的なコミュニケーションをより強く意識した問題となっている。今年度は、受検者が場面設定をより理解しやすいように、絵を4コマにした。

大問**7**(3)①、大問**8**(4)及び大問**9**(4)は、英文から複数の情報を正しく読み取り、内容を「理解」したうえで「思考・判断」し、適切に「表現」する問題になっている。大問**9**(4)は、本年度、出題方式を変更した。

領 域 ・ 内 容		問 題 ・ 配 点
聞くこと (話すこと)	リスニングテスト (対話を聞いて答える)	1 9点
	リスニングテスト (聞いて絵を見て答える)	2 6点
	リスニングテスト (対話やまとまりのある文章を聞いて答える)	3 6点
	リスニングテスト (まとまりのある文章を聞いて答える) 単語のつづり	4 12点
読むこと (話すこと)	短い文章の読解	7 19点
	長い文章の読解	8 12点
	対話文の流れの理解	9 13点
書くこと (話すこと)	文法及び文構造	5 15点
	英語による自己表現 (絵を見て状況を把握する)	6 8点

(2) 問題の内容

問		問題の内容		問題形式			
				選択	短答	記述	
1	No. 1	リスニング	対話の最後の発話に対する応答を選ぶ	○			
	No. 2		対話の最後の発話に対する応答を選ぶ	○			
	No. 3		対話の最後の発話に対する応答を選ぶ	○			
2	No. 1		対話を聞いて絵を選ぶ	○			
	No. 2		文章を聞いて絵を選ぶ	○			
3	No. 1		文章を聞いて英語を選ぶ	○			
	No. 2		対話を聞いて英語を選ぶ	○			
4	No. 1		①	文章を聞き、その内容を表す文の空欄に guitar のつづりを完成する		○	
			②	文章を聞き、その内容を表す文の空欄に languages のつづりを完成する		○	
	No. 2	①	文章を聞き、その内容を表す文の空欄に subject のつづりを完成する		○		
		②	文章を聞き、その内容を表す文の空欄に vacation のつづりを完成する		○		
5	(1)	文法・文構造	動詞 carry を現在分詞形 carrying にする		○		
	(2)		代名詞 they を所有格 their にする		○		
	(3)		語順整序 (How often do you enjoy watching movies?)	○			
	(4)		語順整序 (I was surprised to hear that.)	○			
	(5)		語順整序 (She learns many things by reading books written in ...)	○			
6		自己表現	英語による自己表現(絵を見て状況を表現する) (解答例) I don't think that we can play basketball at the park because it's raining. How about going to the library to do our math homework? (25語)			○	
7	(1)	短文読解	①	文脈に合わせて英語を選ぶ	○		
			②	文脈に合わせて英語を選ぶ	○		
	(2)		①	英語の質問に英語で答える			○
			②	内容と合う英語を選ぶ	○		
	(3)		①	内容と合う英語を補充する		○	
			②	内容と合う英語を選ぶ	○		
8	(1)	長文読解	文脈に合わせて英語を補充する		○		
	(2)		内容と合う絵を選ぶ	○			
	(3)		内容と合う英語を選ぶ	○			
	(4)		文脈に合わせて英語を補充する		○		
9	(1)	対話文読解	文脈に合わせて英語を選ぶ	○			
	(2)		文脈に合わせて英語を選ぶ	○			
	(3)		文脈に合わせて英語を選ぶ	○			
	(4)	自己表現	英語による自己表現(会話文の流れに合うように表現する) (解答例) I have to do my English homework in my room.			○	